



クイック スタート ガイド



(注) 掲載写真は PoE スイッチのモデルです。
実際の製品とは異なる場合がありますが、あらかじめご了承ください。

Cisco Small Business

200 シリーズ 8 ポート スマート スイッチ

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意
(www.cisco.com/jp/go/safety_warning/) をご確認ください。

リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、
リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。

また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

はじめに

この度は、Cisco Small Business ネットワーク通信デバイス、Cisco 200 シリーズ 8 ポート スマート スイッチをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。このデバイスは、詳細な設定が不要で標準ブリッジとしてすぐにご使用いただけます。デフォルト設定では、電源投入後、接続しているデバイス間でパケットの転送が行われます。

パッケージの内容物

- Cisco スマート スイッチ (SG 200-08 または SG 200-08P モデル)
- 電源アダプタ
- クイック スタート ガイド (本書)
- 製品 CD

このマニュアルでは、スマート スイッチ各部のレイアウトを紹介し、お客様のネットワークにこのデバイスを配備する方法について説明します。詳細については、www.cisco.com/jp/go/sb を参照してください。

1

シスコ スイッチの設置

スイッチを設置する方法には、次の 2 通りがあります。

- 平らな面に設置する。
- 壁面に取り付ける。

次のような条件が当てはまる場所には設置しないでください。

高温: 周囲温度は 40°C (104°F) 以下でなければなりません。

通気妨害: 過熱防止のため、両方の側面パネルが塞がれないようにしてください。

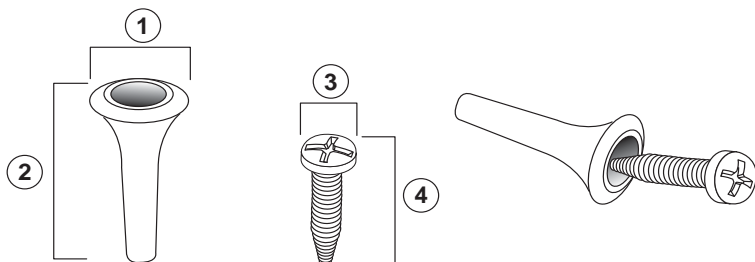
機械的過負荷: デバイスが滑ったり移動したりしないよう、水平で安定した状態でしっかりと固定させてください。

回路の過負荷: 電源コンセントにデバイスを追加接続することで、その回路に過負荷をかけることのないようにしてください。

壁面への取り付け

(注) スイッチは、ポートが上向きまたは下向きになるように取り付ける必要があります。ポートが側面に来るような向きにスイッチを取り付けないでください。接続に負荷がかかる原因となります。

本スイッチには、壁面マウントキットが同梱されています。マウントキットの寸法は次の通りです。



196243

- | | | | |
|---------------|------------------|-----------------|------------------|
| 1 8 mm | 2 22.2 mm | 3 6.8 mm | 4 17.6 mm |
| (0.4 インチ) | (0.9 インチ) | (0.3 インチ) | (0.7 インチ) |

壁面に 95 mm (3.7 インチ) 間隔で 2 つのパイロット穴を開けて、付属のアンカーとネジを壁に取り付けます。スマート スイッチをスライドさせてネジにはめ込み、スイッチを壁面に取り付けます。

スイッチの四方には 130 mm (5 インチ) 以上のスペースを空ける必要があります。



不安定な取り付けを行うと、デバイスの損傷やけがを招く恐れがあります。シスコは、壁面への不安定な取り付けによって生じた損傷について、いかなる責任も負いません。

スマートスイッチをネットワークに接続するには、次の手順に従います。

ステップ 1 イーサネット ケーブルをコンピュータ、プリンタ、ネットワーク ストレージ、または他のネットワーク デバイスのイーサネット ポートに接続します。

ステップ 2 イーサネット ケーブルのもう一端を、スマートスイッチの番号の付いたイーサネット ポートのいずれかに接続します。

接続されたデバイスがアクティブ状態の場合、ポートの LED が点灯します。各スイッチのポートおよび LED の詳細については、「[Cisco Small Business スマートスイッチの機能](#)」(P.8) を参照してください。

ステップ 3 スマートスイッチに接続する各デバイスで、[ステップ 1](#)および[ステップ 2](#)を繰り返します。

(注) ギガビット接続にはカテゴリ 5 以上のケーブルを使用することを推奨します。ネットワーク デバイスを接続する際は、最大ケーブル配線距離 100 m (328 フィート) を超えないようにしてください。デバイスや LAN が接続されてから、動作可能になるまでに最大 1 分かかることがあります。これは予想される通常の動作です。

Power over Ethernet の考慮事項

スイッチが Power over Ethernet (PoE) モデル (SG 200-08P) の場合、次の電源要件を考慮してください。

- 本スイッチは、Power Sourcing Equipment (PSE; 給電側機器) デバイスとして、各 PoE ポートで最大 15.4 ワットの電力を Powered Device (PD; 受電デバイス) に供給できます。
- すべてのデバイスで利用可能な電力の総量は、32 ワットです。
- ポート 1 ~ 4 は PoE ポートで、5 ~ 8 は標準のイーサネット ポートです。



警告

スイッチは、屋外プラントにルーティングさせずに、PoE ネットワークにだけ接続させる必要があります。

作業を開始する前に

Microsoft Internet Explorer (バージョン 6 以上) または Firefox (バージョン 2.0 以上) がインストールされたコンピュータを利用できることを確認してください。

Web ベースのインターフェイスを使用したスイッチへのアクセスと管理

Web ベースのインターフェイスを使用してスイッチにアクセスするには、スイッチの管理 IP アドレスを知っている必要があります。スイッチのデフォルト設定では、DHCP サーバから IP アドレスを取得するか、スタティック IP アドレスに変更されるまで、工場出荷時設定の IP アドレス 192.168.1.254 を使用するようになっています。

スイッチが工場出荷時設定の IP アドレスを使用している場合、[System] LED は連続的に点滅します。スイッチが DHCP から割り当てられた IP アドレスや管理者が設定したスタティック IP アドレスを使用している場合、[System] LED は点灯します。

(注) DHCP サーバや手動によってスマート スイッチの IP アドレスが変更された場合、スマート スイッチへの接続は切断されるため、新しい IP アドレスを使用してスイッチを設定する必要があります。

Web ベースのインターフェイスの使用

スマート スイッチを設定するには、次の手順に従います。

ステップ 1 コンピュータとスイッチの電源をオンにします。

ステップ 2 コンピュータをスイッチに接続します。コンピュータをスイッチと同じ IP サブネットに接続するには、イーサネット ケーブルでコンピュータとスイッチを直接接続するか、他のスイッチを介して目的のスイッチに辿ることが可能な同一の LAN にコンピュータを接続します。また、複数の IP ルータを経由して、別の IP サブネットのスイッチにコンピュータを接続することもできます。

ステップ 3 コンピュータの IP 構成を設定します。

- a. スイッチがデフォルトのスタティック IP アドレス 192.168.1.254 を使用している場合、他のデバイスによってまだ使用されていない IP アドレスを 192.168.1.1 ~ 192.168.1.253 の範囲内で選択する必要があります。
- b. IP アドレスが DHCP によって割り当てられる場合、DHCP サーバが実行中で、スイッチとコンピュータから接続可能であることを確認します。各デバイスが DHCP サーバから割り当てられた新しい IP アドレスを検出するために、デバイスを一旦切断して再接続することが必要な場合があります。

(注) お使いのコンピュータで IP アドレスを変更する方法は、そのアーキテクチャやオペレーティング システムの種類によって異なります。お使いのコンピュータのヘルプとサポート機能で「IP アドレスの設定」について参照してください。

ステップ 4 Web ブラウザを開きます。デバイスに接続したときに、Active-X プラグインをインストールするよう求められた場合は、指示に従ってプラグインのインストールを許可します。

ステップ 5 アドレスバーにスイッチの IP アドレスを入力し、Enter キーを押します。たとえば、`http://192.168.1.254` のように指定します。

スマートスイッチのログイン ページが表示されます。

ステップ 6 次のログイン情報を入力します。

ユーザ名は「**cisco**」です。

デフォルトのパスワードは「**cisco**」です（パスワードでは大文字と小文字が区別されます）。

ステップ 7 デフォルトのユーザ名とパスワードで初めてログインする場合、[パスワードの変更] ページが表示されます。新しい管理者パスワードを入力し、[適用] をクリックします。



注意

Web ベースのインターフェイスを終了する前に、[保存] アイコンをクリックしてから、[適用] をクリックして設定の変更内容を必ず保存してください。設定を保存する前に終了した場合、変更内容は**すべて失われます**。

[はじめに] ウィンドウが表示されます。これで、スイッチを設定する準備が整いました。詳細については、『Cisco Small Business スマートスイッチ アドミニストレーションガイド』を参照してください。

次の手順

- ネットワークで DHCP を使用していない場合、スマートスイッチの接続の種類をスタティックに設定し、現在のネットワーク トポロジに一致するようにスタティック IP アドレスとサブネット マスクを変更します。
- 設定を保存します。
- コンピュータを元の設定に戻します。

これらのタスクを実行するには、『Cisco Small Business スマートスイッチ アドミニストレーションガイド』の手順に従います。

接続に関するトラブルシューティング

Web ベースのインターフェイスを使用してスイッチにアクセスできない場合、スイッチはコンピュータから接続不能な状態になっている可能性があります。ネットワークの接続状態は、ping コマンドを使用してテストできます。次に、Windows 環境で「ping」を使用する方法を示します。

ステップ 1 [スタート]>[ファイル名を指定して実行]を選択し、cmd と入力して、コマンドウィンドウを開きます。

ステップ 2 コマンドウィンドウプロンプトで ping と入力し、スマートスイッチの IP アドレスを入力します。たとえば、ping **192.168.1.254** (スマートスイッチのデフォルトの IP アドレス) のように指定します。

スイッチに接続可能な場合、次のような応答があります。

```
Pinging 192.168.1.254 with 32 bytes of data:  
Reply from 192.168.1.254: bytes=32 time<1ms TTL=128
```

スイッチに接続できない場合、次のような応答があります。

```
Pinging 192.168.1.254 with 32 bytes of data:  
Request timed out.
```

考えられる原因と解決策

電源が投入されていない：

スイッチとコンピュータがオフになっている場合は電源を投入してください。

イーサネットの接続不良：

LED の表示が正常であるかどうかを確認してください。イーサネット ケーブルのコネクタがスイッチとコンピュータにしっかりと接続されていることを確認します。

不正または競合する IP アドレス：

スイッチの正しい IP アドレスが使用されていることを確認してください。スイッチの正しい IP アドレスは、ネットワーク管理者に確認することができます。[System] LED には、スイッチが IP アドレスを受信した場所が示されます。詳細については、第 4 項を参照してください。

別のデバイスがスイッチと同じ IP アドレスを使用していないことを確認してください。

IP ルートがない：

スイッチとコンピュータが異なる IP サブネットに存在する場合、2 つのサブネット間でパケットをルーティングするために、複数のルータが必要になります。

- アクセス時間が異常に長い：

スパンニング ツリーのループ検出ロジックにより、新しい接続を追加すると、その影響を受けるインターフェイスや LAN が動作可能な状態になるまで 30 ～ 60 秒かかる場合があります。

4

Cisco Small Business スマート スイッチの機能

ここでは、ポート、LED、接続を含むスマート スイッチの外観について説明します。

背面パネル ポート

イーサネット ポートは、スイッチの背面パネルに配置されています。

RJ-45 イーサネット ポート：これらのポートを使用して、コンピュータ、プリンタ、アクセス ポイントなどのネットワーク デバイスをスイッチに接続します。スイッチが PoE をサポートしている場合、ポート 1 ～ 4 が PoE を提供でき、ポート 5 ～ 8 が標準のイーサネット ポートになります。

前面パネル LED

LED は、スイッチの前面に配置されています。

[System] LED：(グリーン) スイッチの電源がオンになると LED が点灯し、ブートやセルフテストの実行中、または IP アドレスを取得している間は点滅します。LED がオレンジ色に点滅した場合、スイッチがハードウェア障害を検出したことを示します。

[LINK/ACT] LED：(グリーン) 対応するポートと別のデバイスとのリンクが検出されると点灯します。ポートでトラフィックの転送を行っているときは、LED が点滅します。

側面パネル

電源：この電源ポートにスイッチを接続し、電力を供給します。

5

デバイスの工場出荷時設定への復元

8 ポート スマート スイッチ モデルには、リセット ボタンはありません。デバイスを工場出荷時設定に戻すには、『Cisco Small Business スマート スイッチ アドミニストレーション ガイド』の手順に従います。

Cisco Small Business シリーズの製品、マニュアル等に関する詳細については、www.cisco.com/jp/go/sb を参照してください。また、サポートに関する詳細については、www.cisco.com/web/JP/solution/small_business/support を参照してください。

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

接続ケーブル、電源コード、ACアダプタなどの部品は、必ず添付品または指定品をご使用ください。添付品・指定品以外の部品をご使用になると故障や動作不良、火災の原因になります。また、電気用品安全法により、当該法の認定（PSEとコードに表記）ではなくUL認定（ULまたはCSAマークがコードに表記）の電源ケーブルは弊社が指定する製品以外の電気機器には使用できないためご注意ください。

Cisco Small Business 製品（ハードウェア）に関する 制限付きライフタイム保証規定

ハードウェアの保証に適用される規定は以下の通りです。シスコのソフトウェアに適用される保証を含む正式な保証書は、以下およびシスコ製品に付属の『シスコ情報パッケージ』に記載されています。

ハードウェア保証期間:シスコ製ハードウェアは購入したエンドユーザが製品を所有または使用している限り、ファンおよび電源装置は1年間、保証されます。製品の製造が中止された場合は、シスコでは製造中止の通知から5年間保証します。

ハードウェアに関する交換、修理、払い戻しの手順:シスコまたはその代理店では、欠陥製品を受領してからただちに交換部品を出荷するように商業上合理的な努力を致します。交換部品は送料前払いの陸上輸送で出荷されます。お届け先により、実際の配達所要日数は異なります。

シスコは購入代金を払い戻すことにより一切の保証責任とさせて頂く権利を留保します。

Return Materials Authorization (RMA; 返品許可) 番号の入手:製品の購入先の当事者にお問い合わせください。製品を直接シスコから購入された場合は、シスコの営業担当者にお問い合わせください。

次のフォームに記入して、参照用に保管してください。

製品の購入先:	
購入先の電話番号:	
製品のモデル番号とシリアル番号:	
メンテナンス契約番号:	

各種製品保証規定や、シスコ製品に関するその他の情報は、以下の Web サイト (URL: <http://www.cisco.com/go/warranty>) に掲載されています。

シスコ製品および適用される保証に関する完全なリストについては、上記の Web サイトを参照するか、シスコの営業担当者にお問い合わせください。

本ドキュメントは、米国シスコシステムズ発行ドキュメントの参考和訳です。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については、上記の Web サイトを参照してください。



Cisco、Cisco Systems、Cisco ロゴ、および Cisco Systems ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本ドキュメントまたはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(0705R)

© 2010 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

78-19568-01